



平素は、JAとうとの事業運営に格別のご支援、ご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

さて、わが国の情勢は、近年の国際情勢の不安定化や円安等による輸入価格上昇を要因とした物価上昇が進行し、企業や家計を直撃しています。

また、農業生産の現場では、引き続き、少子高齢化による担い手不足、気候変動による自然災害や栽培適地の変化、耕作放棄地の拡大による生産基盤の脆弱化に加え、生産資材コストの高止まりなど、様々な課題に直面しています。

国は、原材料費・物流コストの増大・食料安全保障強化に対応するために「食料システム法」を施行し、持続可能な食料供給とコストに見合った適正な価格形成を目的に基本的施策を定め、食料の持続的な供給ができる食料システムを確立するとしています。

このような情勢のなか、JAとうとは、第9期（令和7～9年度）中期計画により、組合員の皆さま方との対話を基軸として、農業者の所得増大、地域の活性化、経営基盤強化に取り組みました結果、概ね計画以上の事業実績をご報告できますことは、ひとえに組合員ならびに地域の皆さま方の温かいご支援ご協力の賜であると重ねて厚くお礼申し上げます。

また、金融機関の経営健全性を示す指標となります自己資本比率は令和8年3月31日現在22.25%と引き続き安心してご利用いただける経営内容となっております。

令和8年度は、第9期（令和7～9年度）中期計画のステップアップの年度として各施策を着実に実践し自己改革を推し進めるとともに、JAとうとが地域のくらしにとってなくてはならない存在であり続けるために、役職員一丸となり将来を見据えた事業活動に取り組む所存でございます。

ここに「2026版ディスクロージャー誌」を発行させていただきますので、ご一読いただきJAとうへのご理解をさらに深めていただき、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さま方のご健勝とご繁栄をご祈念申し上げます。

令和8年7月